学校番号	1205

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新・高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」の分野について学習する。
・表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていき、違った見方を「鑑賞」で共有し深めていく。

2　学習の到達目標

・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表すことができる。
・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。
・美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	手のスケッチ	・基本的なデッサンの描画法を身につける。 ・着色について基礎知識を身につける。	a: 表現したいことを伝える ための素描の技能を身に付けている。 b:対象や自己の内面を見つめ、デッサンの特性を生かし、形体や構成などを工夫して表現の構想を練っている。 c: モデルに対して素直に接し、表現の工夫をしようとする 意欲がある。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子
	色彩構成	色についての基本的要素を学び(三原色の知識など)、自分が感じる「熱い・冷たい」色グループに分け着色する。	a: 混色方法、美しいアクリル絵の具の彩色方法を表現している。 b:自分の感じる色の特性を生かし、自己表現としての色彩の関わりを知る。 c:色彩の特性を理解し興味を持つ。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子
2学期	シルクスクリーン	エコバックにオリジナルマーク・キャラクターを印刷する。自己のデザイン力を引き出し、ワンポイントとして魅力ある作品づくりを目指す。	a: 的確なカッターワーク、丁寧は版画工程がこなせている。 b:自己表現としてのキャラクターやマークの制作で個性を表現する。 c: 布に版画するということで、日常的に使用できる作品に取り組むことに興味関心を持ち、意欲的に制作できている。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子
	部屋のデザイン	遠近法を学び、一点透視図法使用した空間をデザインする。	a: 一点透視図法を理解し立体感のある表現ができている。 b:遠近法を効果的に使用し独自の空間を構成している。 c:一点透視図法を積極的に利用し意欲的にデザイン制作できている。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子

3学期	手鏡の彫刻	シナ材の板を使って木彫に取り組み、手鏡として完成させる。工具の扱い方、彫刻の技法を取得する。	a: 彫刻の技術を駆使し、着色の美しさ、綺麗な仕上げができている。 b:手鏡の機能を考え個性的なデザイン・造形を表現ができている。 c: 彫刻の表現に興味を持ち、意欲的に作業を行う工程を学ぶ。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度